

地方創生伴走支援制度による取組を開始します

南木曾町は、今年度 内閣府が実施する「地方創生伴走支援制度」の支援対象自治体として選定されました。今後、支援チームの助言を仰ぎながら、町が主体となって地域課題の解決に向けた取組を進めてまいります。

【概要】

「地方創生伴走支援制度」は、中央省庁の職員が副業的に自治体とチームを組み、地域課題の把握から施策立案までを伴走型で支援するものです。町は本支援を通じ、行政課題の解決および地域活性化に向けた取組を推進します。

【背景と目的】

現在、当町では人口減少の進行により行政課題が複雑・多様化しています。

限られた職員リソースと財源の中、山積する課題への優先順位付けや、効果的な解決策の検討が喫緊の課題となっています。

そこで、中央省庁の職員が持つ高度な知見やノウハウを導入することで、持続可能なまちづくりを実現することを目指します。

【伴走支援チーム】

内閣府 地方創生推進室

地方創生支援官 酒井 孝明 氏、中村 彬良 氏、渡辺 茂紀 氏
以上、3名

【今後の展開】

すでにオンラインミーティングを計3回実施し、町の現状や課題について認識を共有しました。

来る5月28日（木）～29日（金）には、支援チームが来町し、現地視察を行います。観光振興、産業活性化、生活交通インフラ、情報発信、さらには県境地域特有の課題など、現場の視点から具体的な助言を仰ぐ予定です。

今後は定期的なミーティングを通じ、支援官と町が一体となり、行政課題の整理と解決に向けた具体的な施策立案を進めてまいります。